

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 静岡サレジオ小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒424-8624
静岡県静岡市清水区中之郷 3-2-1
 E-mail : prim3@ssalesio.ac.jp
 Website : http://www.ssalesio.ac.jp/primary/
 児童生徒数：男子 146 名 女子 216 名 合計 362 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

0

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

① 星の子活動（全校児童による年間を通じた活動）

目的：チェルノブイリ原発事故被災者、東日本大震災被災者支援

全校児童によるハッピーランチデー（毎週木曜日のおにぎり弁当）によって、捻出された献金（おかず代）を集め、チェルノブイリ救援・中部を通じて、募金として送る。

チェルノブイリにて、事故以来、長年被災者支援を行ってきた故キリチャンスキーさんに哀悼の意を込め、全児童で千羽鶴を折って送る。

② 御殿場イングリッシュキャンプ（第5学年対象7月12日～14日）

短期的目標：異文化理解・第二言語習得

長期的目標：人種・国籍を超えた他者理解を経て、真の国際人の育成を図る

「Let's make curry」「英語で焼き板」

外国人講師の方々に作り方を説明して頂き、一緒に活動を行った。



「交流会」

外国人講師の出身地の伝統的なダンスや歌遊び、聖歌など練習し、全員の前で披露した。

「English Walk Rally」

ウォークラリーのポイントに英語で書かれた問題を置き、グループごとに解きながら進んだ。

これらの活動の中で、クロアチアの伝統的なダンスを揚々と踊る子ども達や、ギターを抱えた講師を囲んで聖歌を歌って踊る子ども達など生き生きと表現する子どもの姿が見られた。英語を単なるコミュニケーションツールの一つとして捉え、他者と関わる喜びを感じた多くの子どもの姿からは、国際理解の本当の姿を感じ取ることができた。これは、「共に過ごす」ことから生まれたことであり、このような自然発生的なコミュニケーションの場を設定するだけでも教師の果たす役割が大きいことが分かった。



③ 『笑顔届けようプロジェクト』－風船に思いを乗せて－（3月14日）

静岡市田辺市長の言葉「静岡に住んでいる人が笑顔になれば、静岡にいらした人も笑顔になるので、君たちにできることを考えてほしい。」というに後押しされ、園芸委員会の発案から企画したプロジェクト。

身近な人には直接言葉で伝えることができるが、地域を含め、もっと多くの方に感謝の思いを届けたいと考え、今回風船に全校児童たちが自分の思いを乗せて飛ばすことにした。さらに、この風船を受け取った人が笑顔になれるように1年間園芸委員の児童たちが大切に育てたマリーゴールドの花の種と手紙を添えた。



途中、風船が割れてしまうことがあっても種からきれいな花が咲いたら、見た人が元気になるのではないかという考えから水に溶ける紙と紐を使うことにし、種をその紙に包み、周りに自分たちが頑張っていること、うれしかったことなど、見てくれた人が笑顔になるような手紙を書いた。

静岡市から児童が飛ばした風船が、箱根、伊豆、千葉方面に届き、各地から喜びの声を頂いた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）